



## 都市におけるアロットメントガーデンで生物多様性を高めるにはどうしたらよいか？

### 課題

アーバンガーデンは人々が自然に触れ、都市の生物多様性を高めるための大変優れた機会をもたらす。生物多様性——動物と植物の種、生息地、遺伝資源の多様性——はアーバンガーデンでも豊かになりうる。生物多様性が高まると、人間にとっても、動物や植物にとっても生きやすい都市環境となり、都市に住むあらゆるものの貢献によってその状態が保たれる。多くの生態系サービスは生物多様性に直接的に依存している。ガーデニングはグリーンネットワークの一部として都市の生物多様性を助ける大きな可能性を秘めており、ガーデナーと意思決定者はどうやってそれを達成できるか知っておくべきである。主な課題は以下の通りである：

- ガーデナーはアロットメントガーデンの野生生物をいかに扱い、生物多様性をいかに守ればよいか？
- ガーデンの管理を通じて生物多様性を豊かにするのに最も優れた方法とは？
- 意思決定者は生物多様性に配慮したアーバンガーデンをどのように支援できるのか？

これらの問いは、ガーデナーが潜在的に都市における自然を世話役として最適であることを示唆している。また、アロットメントガーデンは都市の生物多様性を高めたり守ったりするのに一定の役割を果たしうる。



図2 - 堆肥をつくることでアロットメントガーデンの土壌の質が良くなり、生物多様性を高めることができる。写真: Francesca Bretzel



図3 - 自生の花々がサラダに彩りと風味を加える。写真: Francesca Bretzel

## ガーデナーへのメッセージ

- 生物多様性が高いと、環境変化に対するアーバンガーデンの適応力や抵抗力が高まります。
- 生物多様性は有機野菜・果物を栽培するのに役立ちます。
- ハチや野生のポリネーターは、食物連鎖を支えて、他種の生き物を惹きつけ、農作物生産量を向上させるため、守る価値があります。
- 在来種(その地域に由来する種)は遺伝的多様性を促進・保持し、生き残りに有利な特徴や優れた味を有します。さらにガーデナーが様々な食べ物を生み出し、田舎の慣習を守る意味でも重要です。
- 野生の在来種を用いることで肥沃性や構造の観点から土壌の質を高めることができます。
- もっとも侵略的な雑草はガーデナーが管理すべきです。その際、農薬を使わない方が好ましいでしょう。
- 池や小川、木の枝や枯れた木は、鳥やその他の野生生物を惹きつけるでしょう。
- 水や土、堆肥や木といった自然の素材をリサイクルし再利用することが望ましいです。

## アドバイスメモ

- 野生動物や植物の小さな生息地をつくりましょう。
- 鳥やコウモリ、ハチやその他の野生動物のための隠れ家や巣箱を設置しましょう。
- 食べるためや飾るための野生植物種を使うことで、多様性を高めましょう。
- 在来種を育てましょう: 在来種は価値があり、繁殖させるのも容易です。
- 自分自身で有機栽培で種をつくり、他のガーデナーの種と交換しましょう。
- ガーデニングに関する助言者を見つけ、有機栽培式のガーデニングを助けてくれる組織に加入しましょう。
- バイオダイナミック農法またはパーマカルチャーのテクニックを使いましょう; 土壌に加えるのは必要な有機性物質だけです。
- 自分の区画にいる植物・動物の同定の仕方を学び、他の人にその植物・動物について教えてあげましょう。
- 固有種もそうでない種も自然にあなたのガーデンで増えていきます; そのなかには食べられるものがあったり、生物多様性を高めるものがあったりします。
- 殺虫剤を使わず自然な方法で害虫に対処し、雑草の手入れをしましょう。
- 樽やコンテナに雨水を集め、池をつくりましょう。

## 関連情報

### 役立つリンク集

- <http://www.rooftopvegplot.com/>
- <https://www.incredible-edible-todmorden.co.uk/>
- <http://www.nsalg.org.uk/>
- <http://www.ruleworks.co.uk/veg-edible/index.htm>
- [http://www.wildoxfordshire.org.uk/wp-content/uploads/2014/11/Wildlife\\_on\\_allotments.pdf](http://www.wildoxfordshire.org.uk/wp-content/uploads/2014/11/Wildlife_on_allotments.pdf)

### 参考文献

- Thompson, K.** 2007 Compost the natural way to make food for your garden. New York: Dorling Kindersley



図4 - ガーデニングは生物多様性につながる直接の経験の機会となる。スクオーラ・プリマリア・ナターリ(イタリア、リヴォルノ)にて。写真: Francesca Bretzel



図5 - ハナアブ<sup>1</sup>。写真: Francesca Bretzel

## 政策立案者へのメッセージ

- 都市におけるアロットメントガーデンは都市の生態系の重要な一部であり、街の中で断片化した生物の生息地をつなげ、動物相と植物相を支えます。そのため、計画あるいは土地利用決定の上で推進されるべきです。
- 生物多様性を感じることは心を落ち着かせ、人々の福利を向上させます。
- アーバンガーデンの生物多様性を高めるには様々な方法があります。
- アーバンガーデンは本来そこにいた野生の植物や動物の種を保全するための場所となります。人間のコミュニティと都市の歴史に対して、伝統的価値のある多様性をもった遺伝子バンクももたらします。
- 人間の多様性と社会的な相互作用は生物多様性と意義深く関係しています;よって、都市においてガーデニングは生物多様性の観点からコミュニティの価値を高めることができます。

## 政策概要

- ガーデナーとその組織が創造的かつ環境に優しいやり方で生物多様性を高められるよう推進しましょう。
- ガーデナー向けの教育や情報提供を支援しましょう。たとえば有機栽培のガーデニングや化学物質の利用を避けることについての講座の提供が考えられます。
- ソーシャルメディアのネットワークを支援し、ガーデナーがガーデンで植物や動物の種を同定し、生物多様性をモニタリングできるようにしましょう。こうしたネットワークはガーデナーや彼らが所属する組織、あるいは環境NGOや市民科学のプロモーターを集め、さらに情報通信技術を通じた都市自治への参加が促進される可能性があります。
- ガーデナーと公園管理スタッフ、その他の生物多様性に関わる人々との交流を増やしましょう。ガーデナーは知識を有するゆえに世話役として活躍できます。
- 学校や地域のイベントにおいて、あるいは同僚等に対して、ガーデニングと生物多様性の意義について講演をしましょう。
- 新しいガーデンではルールをつくり、生物多様性を高めましょう。

## 関連情報

### 役立つリンク集

- <http://www.ruaf.org/>
- <http://www.gardenorganic.org.uk/>
- <http://www.hullhistorycentre.org.uk/discover/hbp/actionplan/habitatactionplans/gardens.aspx>

### 参考文献

- Altieri M.A., Merrick L.** (1987). In situ conservation of crop genetic resources through maintenance of traditional farming systems. *Economic Botany*, 41, 86-96.
- Blaauw B.R., Isaacs R.** (2014) Flower plantings increase wild bee abundance and the pollination services provided to a pollination-dependent crop. *J Appl Ecol* 51:890-98
- Goddard M.A., Dougill A.J.H., Benton T.G.** (2010) Scaling up from gardens: biodiversity conservation in urban environments. *Trends EcolEvol*25:90-98

<sup>1</sup>ハナアブは授粉を助け、ガーデンをコントロールする生物である。

著者

Ari Jokinen, University of Tampere, Finland

Francesca Bretzel, CNR Institute for Ecosystem Study - Pisa, Italy

Ligita Baležentienė, Aleksandras Stulginskis University, Lithuania

翻訳:新保 奈穂美 (Naomi Shimpō), 筑波大学, shimpō@nenv.jp

インフォシリーズ | 1版 言語:日本語 (JAPANESE) | オンライン発行日:2016年12月1日

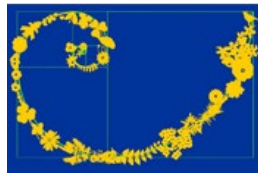


COST (European Cooperation in Science and Technology、欧州科学技術研究協力機構)は  
欧州全域の政府間で形成されたフレームワークです。  
その使命は科学的および技術的な発展により新たな概念や産物をもたらすこと、  
それによって欧州における研究および革新の可能性を高めることです。

[www.cost.eu](http://www.cost.eu)



COSTはEUの研究・イノベーション枠組み計画「Horizon2020」に支援されています。



謝辞

このファクトシートはCOSTが支援する「COST Action TU1201 Urban Allotment Garden in European Cities」  
の成果にもとづいて作成されました。

[www.urbanallotments.eu](http://www.urbanallotments.eu)



「欧州のアーバングーデン」に参加しましょう:

<https://www.facebook.com/groups/825421310826607/>